臺灣昌新報(夕刊)
二月二日
一部定價一錢
發行人　佐々木寅
臺北市榮町四丁目番地二番地
電話日本新報社
基隆支局　臺中支局
臺南支局　高雄支局
花蓮港支局　澎湖支局
大阪西淀川区福島北二ノ八ノ五　自動車
大阪市西区江戸堀北通二ノ三ノ一　大阪支局
東京市芝区琴平町一ノ一　東京支局

蒸し返しなのに決議案決定せず

保留や異議申立で

一日の聯盟理事會

【ゼネバ一日發同盟】聯盟理事會は一日午後零時三十分非公開冒頭に於て英國ソ支四国覚書の決定に基づき日支紛争に關する決議案を提出したが、ポーランドは、ベルギー国代表は本国政府に訓令の必要上決定を保留しポリシライプ代表も亦決議案の字句に就て異議を申立てたため會議は可決決定に至らず午後一時五十分解散した。理事會は午後六時より引續き非公開會議を開催して決議案を検討する段取となつたが日本側の異議申立に依り明朝に延期するものと見られるが決議案は大體昨年十月の總會決議の際に返しに過ぎないがソ聯代表リトヴィノフ外務人民委員は支那代表の維持の態度を強調する旨を明言した。

連絡會議は四日

新事態に處する帝國政府の根本方針遂行のための政府、大本營の連絡會議は一日午後院内において風見官長、町尻少將間に協議の結果四日午後首相官邸に開會するに意見一致を見た

【東京二日發同盟】支那事變の連絡會議は一日午後院内において風見官長、町尻少將間に協議の結果四日午後首相官邸に開會するに意見一致を見た

日本が力を消耗せず富强ならん事を切望

ヒ總統が率直に斷言

【ベルリン一日發同盟】国際聯盟の問題に関するドイツ政府の態度は聞明明瞭でドイツは極東の平和と秩序を確保しその繁栄に協力するを以外国の関心を持たない。然るに平和と秩序の攪乱を企てなべく各国の赤化を防ぎ国際的共産主義の水際防止を受け撃滅された

警邏艦隊を增强

【ロンドン一日發同盟】地中海に於ける英国商船の保護は英国海軍に多大の負担を與へてゐるが英国政府は地中海警戒隊の增强を期すべく目下鋭意研究中である

地中海航行中英船擊沈さる

西國國府潜水艦の爲に

【バルセロナ一日發同盟】英国商船ニンデイミオン號（八八七噸）は去る二十九日ジブラルタルを出港して地中海を航行中三千一百キロ十分ルタルヘナ附近のティノン岬南方沖合にてスペイン国民政府海軍潜水艦の水雷攻撃を受け撃沈された

時局に則應して刷新警察を確立

全島警務部長事務打合會で

二見警務局長が訓示

全島警務部長事務打合會は二日午前十時より台北市警察官會館に於て佐々木（台北）樂浦（新竹）中平（台中）西村（台南）高橋（高雄）各州警務部長に堀（台北）岩田（花蓮港）佐野（澎湖）各警務部長

燃え盛る海軍擴張熱

下院海軍委員會で擴張案の審議開始

米國　リー提督が説明

【ワシントン一日發同盟】米國下院海軍委員會に於ける海軍作戦部長リー提督の説明（別項記載）は海軍の政策といよりは寧ろ米國の外交政策に言及してゐる点多く一日又ル国務長官との定例會見に於ても新聞記者團から右に對するハル長官の意見を求めた質問が續出した。殊にリー提督は日、獨、伊三国防共協定を以て重大同盟と見てゐるからである。

リー提督の暴論

米國の動向にも影響

【ワシントン一日發同盟】米國下院海軍委員會に於ける海軍作戦部長リー提督の説明（別項記載）は海軍の政策といよりは寧ろ米國の外交政策に言及してゐる点多く一日又ル国務長官との定例會見に於ても新聞記者團から右に對するハル長官の意見を求めた質問が續出した。殊にリー提督は日、獨、伊三国防共協定を以て重大同盟と見てゐるが獨逸の再び不一致にモンロー主義に言及してゐるがハル長官は之と同意見なりやと質問があつたのに對し同長官は終て不確答の答弁をなした。然し乍らリー作戦部長に依り代表されるこの種の意見が重大視されこの種の意見に依り大衆一般に滲透しつつあることは注目すべき現象である。日、獨、伊三国防共協定が海軍問題と關聯であり防共協定が海軍問題と關係あらうとなすが如き急轉を以てしては言語しがたい意見が公然海軍當局者により發せられた事実は如何に海軍計畫を進める上のセールスマン・シップとは言へこの種議論の發酵は必然的に米国の動向に大きな影響を與へるので目下に對する國際聯盟の動向と共に注目される

新建艦計畫立案を終る

佛國　海相が言明

【パリ一日發同盟】フランス海相ペルトラン氏は三十一日新聞記者團との會見において仏国の海軍拡張計畫を示唆して國際情勢の急変に直面し我々も千九百三十七年に採用した建艦計畫を今や全面的に修正せねばならなくなつたと述べ、最近獨に傳へられる四万二千噸主力艦建造説を捨て切り次の如く言明した

海軍省は既に新建艦計畫を立案し閣議の正式決定を俟つのみとなつてゐる。閣議の結果を経て直ちに実施に取かゝるが実現すればフランス海軍は現在の脆弱な状態を脱して威力を増すことが出来よう。

宣傳拙劣に一矢

衆議院豫算總會へ

豐田氏　世界の輿論を味方とする土俵に對して一種の情報國際宣傳の如きものを設置し外国人をして日本を誤解せしめては如何

外相　全然同感で出来るだけ宣傳に実施せしめたい

豐田氏　米軍の大規模民主主義機構案の協力要望は協議に對しても重大な關係を持つと考へるが海相の所見如何

米内海相　大統領の教書発表大統領が戦争化するまでには時間がある。時局に則應する為には飽迄やり抜つた旅順各殿の覚悟を持つと考へるが海相の所見如何

豐田氏　米国の民主主義は国民の輿論を反映する為に議会の協力要望は協議に對しても重大な關係を持つと考へるが海相の所見如何

外相　全然同感で出来るだけ宣傳に実施せしめたい

豐田氏　米軍の大規模民主主義機構案の協力要望は協議に對しても重大な關係を持つと考へるが海相の所見如何

米内海相　大統領の教書発表大統領が戦争化するまでには時間がある。時局に則應する為には飽迄やり抜つた旅順各殿の覚悟を持つと考へるが海相の所見如何

豐田氏　世界の輿論を味方とする土俵に對して一種の情報國際宣傳の如きものを設置し外国人をして日本を誤解せしめては

防共網强化に

伯林と羅馬へ事務官

内務省警保局から派遣

【東京二日發同盟】赤の擡頭に努めつゝある内務省では国外株にソ聯のコミンテルンの活動状況を注視する必要を感じ愈々防共の線に沿らうとベルリン、ローマ、東京に警保局長官、同、通訳一名づゝを常駐する事となつたこれ等の新設防共機関施設はベルリン、ローマの各防共機関と緊密な連絡を執り相互にソ聯の情報を交換すると共に日本国内危険文書の厳重なる取締に資する目的である尚近の極右思想は米国を通じて日本に流入し込むべく内務省の在外防共機関官に就くくて内務省の在外防共機関官は前記防共機関の上海、ハルビン、ベルリンと共に新設の名称を加へて合計七つの防共機関となり日本の防共線は一段と強化されると共つた

日本向商品の荷役を拒否

ロサンゼルスの荷役人夫

【神戸二日發本社支局特電】布哇における第一船組合員側の排日熱然化傳へられる折柄一日米船入港によればロサンゼルスに於ても荷役人夫は日本船のみならず如何なる船舶でも日本向商品の積込み拒絶には来現する旨公言であるが、所

にせ刑事

南署が捕ふ

最近右北、新竹廟下の間に某官吏の刑事と稱して恐喝がましき事を行ひ歩く男あり台北南署では海山郡一部出張所二九林新聘の所為と睨みその所在捜査中一日夜金福眼鏡商会で紳士として台北市内を徘徊中の彼を逮捕した取調べの結果右犯行を自白した外更に自轉車泥棒をも働いてゐた事判明餘罪を敎ある見込み

池河鎮の退却を

國民政府でも正式確認

【上海一日發同盟】國民政府最高統帥部は一日津浦線南段における交通狀態及び支那軍の池河鎮退却を正式に確認し日本軍の攻撃及び爆撃に依る損害大なるを以て戦線を後方に移動せる旨公表した

きのふ海の荒鷲

寧波、玉山を空襲

軍需品工場に巨彈の雨

【上海一日發同盟】海軍航空隊は一日午後杭州省の軍事施設に第一回の空襲を敢行し同地方軍事及び軍需品工場に巨彈の雨を降らせ、更に又浙東鉄道の要衝玉山に飛び同地方面の軍隊を爆撃し何れも多大の打撃を與へ全部無事帰還した

鳳陽も爆撃

【上海一日發同盟】海軍航空隊は昨夕鳳陽飛行場〇〇機に一日早朝寧波に飛来し爆撃から漏れてゐた青野原に投下した爆弾は一発多大の打撃を與へたこの他数箇所に爆弾の雨を降し一部には目下火災を起してゐる

潜伏中の青野

ゆうべ 世田谷署に自首

【東京二日發同盟】一日の人民戦線検挙に際し検挙から漏れてゐた青野季吉は某社に潜伏の為市内某所に潜伏してゐたが有罪横を書き終つた同夜八時頃世田谷署に出頭したので直ちに同署に留置された

戦歿職員の慰霊祭

臺北州で執行

臺北州では州廳員中の今次事変に

郵便貯金に反映する

銃後國民の緊張ぶり

【東京二日發同盟】郵便貯金局一月に入りての郵便貯金に預入額五十万二千七百七十四人、預金額八千八百二十九万五百六十円を増し一方引出額は前年同期に比べ約三十七万三千二百十七人、預金額二千七百七十四万八千八百三十九円となつた、本年の増加振りは未に顕著であつて預入員において中産階級の比率が高まつたことは銃後国民の緊張ぶりを如実に物語つてゐる

潜伏中の青野

ゆうべ 世田谷署に自首

明朗となつた山東

見る濟南の支那民

建國祭式典に續き

武道大會と建國の夕

紀元の佳節に島都で挙行

△紀元祭式典（一）参加者は夫々團体として参加し団体旗を携行のこと（2）各団体は我が建国の理想に基き簡明な日本精神宣揚を終現する為の自覚を期めたる大旗の携行を希望（3）各団体は必ず指揮者を立て統制ある行動の下に所定の式場に集合し解散すること（4）装束を有する向には之を参加せしめ行進中は愛国行進曲其二を演奏せられたし（5）団体行進に際しては他の団体との間隔を考慮し放歌を差控ざる様等に注意せられたし

△紀元祭式典（二）参加者は夫々団体として参加し団体旗を携行のこと（2）各団体は我が建国の理想に基き簡明なる日本精神宣揚を終現する為の自覚を期めたる大旗の携行を希望（3）各団体は必ず指揮者を立て統制ある行動の下に所定の式場に集合し解散すること（4）装束を有する向には之を参加せしめ行進中は愛国行進曲其二を演奏せられたし（5）団体行進に際しては他の団体との間隔を考慮し放歌を差控ざる様等に注意せられたし

△日時　一月十一日午後七時より

△主催　臺北市国粋会

△会場　臺北市公会堂

△解説　開會之辭　君が代斉唱

　　音楽演奏　吹奏楽　能　剣舞

　　三国合奏　映画　大日本帝国万歳三唱

　　閉會之辭

建國祭式典

△日時　一月十一日午前八時三十分より（雨雨に不拘）

△会場　練兵場（雨天時は

△式次第　開式の辞、国歌斉唱、

　　開会式（君が代）吹奏一回宮目録

　　君が代合唱、司会者式辞皇国万歳

　　文部省、県、天神宮皇宮皇国万歳

　　皇軍慰問文朗読久邦観歌唱、紀元節

　　唱歌合唱（第一回、第四節）大日

　　本帝国万歳三唱、国旗降納喇叭

　　君が代吹奏一回宮目録敬礼、閉

　　式の辞

奉祝武道大會

△場所　大日本武徳会臺湾支部

△日時　一月十一日自午後零時三

　　十分至六時

△会場　臺北市公会堂

△参加者　（一）臺北市在住有段者（3）少年

　　剣道、少年柔道、少女薙刀各一組

△演武の種類並順序　剣道、柔道

△順序　開會之辞　君が代斉唱、

　　敬礼、国歌斉唱、司会者挨拶、演武開始

　　宮目録奉呈、大日本帝国万歳三唱

　　閉會之辞

建國の夕

△日時　一月十一日午後七時より

△主催　臺北市国粋会

△会場　臺北市公会堂

△解説　開會之辞　君が代斉唱、

　　音楽演奏、吹奏楽、能、剣舞、

　　三国合奏、映画、大日本帝国万

　　歳三唱、閉會之辞

建國祭式典に續き

武道大會と建國の夕

紀元の佳節に島都で挙行

突然の空襲警報で

重慶全市は大混亂！

所属不明機に狼狽し

今曉・甲府市で大火

縣廳構内に飛火し一時危険

練習を抜きにして

保甲壯丁團の檢閲

あす基隆高砂公園で挙行

加州在留同胞から愛國機

基隆港の曳船

近く組合組織

猛烈な時化に

出入港豫定狂ふ

香港丸けふも立往生

賽錢泥棒

基隆の各所を荒す

分晩の映画

森永福袋セール幸運探し　一袋十二銭

藤山一郎アトラクション　百貨御招待

森永野球遠引換券が當る

藤山一郎手歌血鐵　聲發準標郎一山藤

愛國行進曲

ドーコレクチイテ

歌の線戰支北

戰場だより

ドーコレクビムロコ

支那駐屯軍司令部　推薦

曾我御殿　溝口直三郎

感冒に　ケロリン

聞かせつゝ　無駄喰つて　食べかな

「あすの天氣」

各地温度（二日）

日蓮宗大乘會の総会開催

日蓮宗大乘會の総会開催

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

臺灣婦人会の新年会

（可燃物便郵認可）

日本人は何で命を奪はれるか

平素の健康法數ケ條

醫學士　内田孝藏

人間は幾歳まで生きられるかといふ問題で、記憶力斷續と結核は今の處日本の最も考へ直されてゐる程である。結核は眼に見えない微菌で、この二つの病氣に侵されない為に注意する事が最も眼心なことである。その為には先づ平素から胃腸を丈夫にする事、風邪をひかぬ事、結核に對する抵抗力をつける事であるが、更にもう一つ風邪に注意する事である。

×

日本の氣候は必ずしも生活によい氣候と言ふ事は出來ない。熱帯地帯に比較して、生活に適した氣候でない。殊に四里の氣候と比べてみると四里は冬は溫度が一度内外、東京は四度で四里の方は東京よりズッと暖い。風が強く湿度は四里が八十五%、東京が六十%で東京がズッと乾燥するので風邪もきが多い。夏はどちらかと言ふと、東京は湿度が高くて暑い。そして緯度の多い夏期に熱帯をはじめ、各種の冒腸系統の病氣患者が多くなる。それで夏期は先に述べた通りである。冬は以上の様に風邪ひきが原因となつて肺病になつたり、これは結核にならぬ為に平和で平素から胃腸を丈夫にする事、風邪をひかぬ事、結核に對する抵抗力をつける事である。

×

次に大切な事は病氣をしない事。そこで日本人はどんな病氣で一番多く死にするか調べて見ると、最高が胃腸病、次は結核、腎臓病、腹膜炎、腹膜炎、腎臓病であるこれは結核によらねばならないので、平和一朝一夕にこの國土は成はへない。常に心掛けて結核を起らない様にする事である。

×

日本は四十二年といふが、これは年々短縮されてきてゐるので、識者の注目を惹いてゐるが、私は苦々日本國民が結核に、健腸病が宜しきを得るならば、八十歳の壽命を全うする事は出來るものと思ふし、私自身、少くとも八十歳位は生きたいといふ希望を持つてゐる。然も半身を國の親の老人としてでなく、大変元気に八十歳位までの壽命を保ちたいと常に望んでゐる。

×

それで、どうすれば長生きが出來るか、と言ふ研究であるが、それは先づ第一に大切なのは心臓を悪しない事、くよ〳〵と心を悩める事は非常に老けさせる。精神的苦悩はやがて肉體の苦悩となつて、人間が最も早く老けてゆくのである。世間には、どうにもならぬ事を、くよ〳〵心配する人が可成り多い。皆思なる樣にしかならないのだから無駄の心臓をなるべく避ける事。それには先づもつて精神の修養が第一眼心なことである。佛教でいふ無為樂といふのは、この煩悩を苦に樂しめ使ひた心臓はない。しかし、何と言つても不公平でなく、幽霊ではない。平和に生活を楽しめる國である。殊に戦争の為に生活を楽しめる國である。殊に戦争の為に生活を楽しめる國である。殊に戦争の為に生活を楽しめる國である。この國民が長生きするのは、あたりまへの事である。又一方短命の印度であるが、この國は非常に暑いので、生活に適しない為、子供が生れても多く夭折する。從つて平均壽命が低下してゐるわけである。

×

次に結核は、結核菌の侵入を防ぐ為に、結核菌に對する抵抗力を強くする事である。結核菌

國定忠次 (169)

(第上段)

長谷川伸作
岩田專太郎畫

大戸の關 (二)

ここは信州善光寺のうちで信州ではない。上州からは碓氷といひ信州からは碓氷峠といった。

その峠手前へ、駕方が早く網を張つたとは思へない。それに忠次が国定を出たことは秘に覆られてゐないと睨んである。

が、思慮に欠りはない。忠次は駕の脇のひかりの下に黒くみえる。六七人旅姿の男ばかりの一組に眼をは、一人々々をそれとなく眼鏡にかけてゐるうち

「おやッ」

思はず知らず声を出しかけたが咳殺した。

忠次の先を歩いてゐるのは国定一家の、清五郎、伊八、吉左衛門、佐眞松、安五郎、それに文蔵までが加はつて六人だ。

飛んでもねえ騒だ。と、忠次は驚くにも驚つたがその他に、国つたことがある。一人分の駕所手形しかないことと、もう一ツは同時七人になつては、信州から往來がつらい。

の時用の金がない。今、忠次の財布の中にあるのは、精々、二三人分をかすえたけに過ぎない。

立停まつてゐる忠次は、不審ながら六人の身内をやり過し、われ鐘り餘を過て信州へ乗込まう、と、駕際に思案を極めてゐる。

とも知らず、先を急ぐ六人組のなかで、安五郎が佐眞松に

「もう、お出掛けなさつたらかしと」

山際だけに、別しては駕だけに声がよく四方へ響く、佐眞松が

「うン、お出掛けなさつたに違えねえさ、駕とういちから親分は何にも知らずにお出でなさるぜ」

忠次はそれを聞くと、慌てがしたくなつた。六人組はゆうべ忠次が鬱金の角目へ泊つたのを知つてゐたらしい。さう三へば、ゆうべ宿下で、幸吉との雷目、あれは文蔵の出だつたのだらう。

清五郎が先立ちになつてゐる文蔵に

「ねえ文蔵さん、ここらでお待ち申さうちやねえか」

「さうよなあ」

「おんまり明るくならねえ市がいいぜ、人が通るといけねえや」

「それちやあ、ここらで待たう。みんな、一服やらう」

六人が思ひ思ひに腰を卸し、煙草、火を飛り、煙草を出し、それを忠次は十間ばかり距れて見つけて、国へ帰れといふのは止しにしてくれ。なあ、みんな、さうだらう」

五人は口を揃へていふ代り、一斉に頭を下げた。忠次は

「いけねえ、お前達を連れて行つていい位なら、何も慌て国定にゐるとき、あんな騒をやあしねえおい、みんな、志は嬉しいが、どう連れてはゆかれねえから堪つてくれ」

清五郎が前へ乗出し

「親分、どういふ訳でいけねえんです」

「何だと。清五、お前ふれに理屈がいひてえのか」

「親分、さうちやねえんです。どふいふ訳で連れて行つて下さられえのか、訳が知りてえんです」

「訳を聞かせたら、帰るか。みんなが訳をいつて聞かしたら帰心して帰るか」

文蔵が一同を代表して

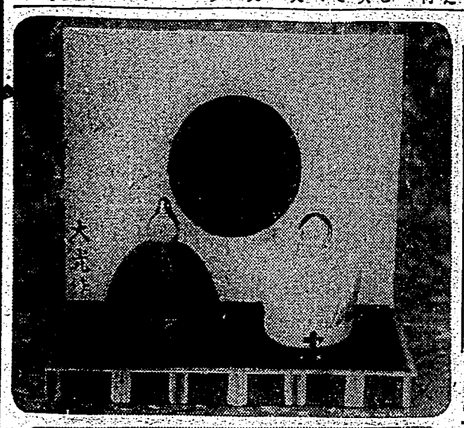
「ふん、と、次第によつては帰ります」

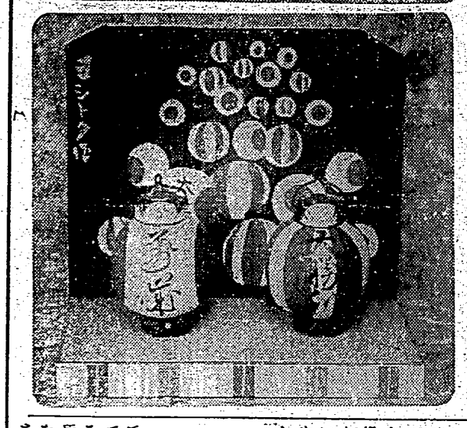
「ふん、と、次第によつては帰らねえといふのか」

「さうです。女房のある者は水盃をしてみんな出てきてます生きて国定へ帰る氣のものは一人もゐません」

今年の變り雛

上位長平ヒナ
下に駕ヒナ





戰爭とヒゲ (下)

戰後新型が流行か

ヒゲの生理学的発生原因については、既に前述した通りであるが、これも原始保護のために進化の神が作つたものであらう、しかも、原始時代に於ては、このヒゲをもつて、威厳を示す外観上の要件としたことは既に明かである。ヒゲを剃る術を知らなかつたことも、その原因であり、また鬚を剃ることは、その原因の一つに数へられよう。実に男性の特徴を利用して原始人は強さうに見せかけたのである。

× × ×

それがため、自分の意思でヒゲを剪る、または剃るといふことはなく、他人に依つてヒゲを切られる場合にヒゲが無くなつたのである、ヒゲが切られるといふことは神聖を受けることで、本朝に於ても神代にこの事がある

× × ×

わが国に於て、ヒゲを剃ることが行はれたのは、鳥羽院の頃であると史実に見えてゐるが、久しい間に亜つて、隠遁僧、刀工などはヒゲを貯へたことが記録されてゐる。また、桃山時代に於ては、一般にヒゲを剃ることが行はれたそうである

× × ×

武家本位時代に於ては、堂上方はヒゲを剪つたが、武家の中にはヒゲをのばしてゐるものも相當多かつたやうであるが、これも隠遁とか飾りとかさういつたものではなく、「強さうに見せるため」の威武の象徴であつた

× × ×

他で現代の戦爭とヒゲとの関係があるかといふと、既地では永い間ヒゲをのばし放題にしてゐるその習慣がつくためでもあらうが、また、戦場記念といふやうな意味からのばす人もある。また、中には、一世を風靡するやうな切り、世界の舞台に上るやうな人物が、好みの形のヒゲをつけると、中には、これを真似やすものが出て来るそして、遂に、「流行」を捲き起す場合すらある

× × ×

ドイツ式、フランス式、ロシア式、イギリス式など、それぞれの国の特徴を現はしたものもあるが中でも、ドイツ式の一種たる「カイゼルひげ」の始まりは、実に世界を風靡したものであつた。上唇のヒゲを左右に長く跳ねよくにたれた姿は、今は懐中薬の商標の軍人姿に導へられ、それを見ることが出来る「ヒゲをひねる」が官なら、どぜうや蟹みたな官員」といつたほどで、軍人に限らず、日露戦争前後の官員は殆にヒゲを変したものである。しかも、コスメチックをつけて、ピーンと張せ、こしらへ物のヒゲみたいに作りあげることが當時のハイカラであつた

「カイゼルひげ」の流行した時代に、「ボアンカレー型」と謂るヒゲが流行したことがある、これは七時のヒゲを大ボリュームと無技巧に、隠遁は「ヒゲ氣」にのばしたもの、これはフランスの蓄積文相として登名を絶せ、かつては大統領、首相ともなつたボアンカレーのヒゲを真似たもので、一頃は、ボアンカレーの流行時代は「ナポレオン型」等を現はれたが、これは大して騒んにならなかつた。

「ナポレオン型」は下唇のすぐ下にチョボ〳〵と生やしたもので人に依ると反つて、これがために悪相にさへ見えることがある、これに飽いしたものに、よく流行などお目にかかる「山羊ヒゲ」がある、これは下唇に三匹、五丑匹ほどのヒゲを生やしたもので、その形状が山羊のロヒゲに似てゐるのでこの稱が起つたのである

× × ×

また、その時代「ホンガリヤ型」といふのもあつた、これは口の周囲一面と、短い山羊髭とを繋合した、モヂヤ〳〵型であつた。

ヒゲの世界的流行の一時代としては、北清爆変項を一時期に見る事が出来よう、北清爆変のあつた明治三十六年は、いはゆる二十世紀の第一年に相當する、従つて、わが国五世に於けるヒゲの変遷行程の出現はこの頃から見るのも一つの見方であらう

× × ×

知る流行したものであつた

× × ×

ボアンカレーの流行時代に「ナポレオン型」等を現はれたが、これは大して騒んにならなかつた、「ナポレオン型」は下唇のすぐ下にチョボ〳〵と生やしたもので人に依ると反つて、これがために悪相にさへ見えることがある、これに飽いしたものに、よく流行などお目にかかる「山羊ヒゲ」がある、これは下唇に三匹、五丑匹ほどのヒゲを生やしたもので、その形状が山羊のロヒゲに似てゐるのでこの稱が起つたのである

× × ×

また、その時代「ホンガリヤ型」といふのもあつた、これは口の周囲一面と、短い山羊髭とを繋合した、モヂヤ〳〵型であつた。ホンガリヤは、ハンガリー国であつてオーストリー・ハンガリーのあのハンガリーである、亜しオーストリー（といつても嘘いが、ウキリー辺には、古来学者が多く出た、それらの学者は多くかういふヒゲを生やしてゐたので、「学者風のヒゲ」といふ意味で、オーストリーから聯想してハンガリー、略ら「ホンガリヤ」型を生じたのであらう

× × ×

かの欧洲大陸當時からはチャツプリンヒゲと稱するものが大流行したことは皆人の記憶に新たなところである、これは既に御承知の通り上唇に「口」の字に合せて短かく刈り込んだものであるが、流行の結果は、出来るだけ左右に短く刈り込む式が行はれ、中には鼻の下だけチョボ〳〵と生やしたものなども出て来るやうになつた

× × ×

チャツプリン以来、あまり際立つて新型の流行流行を見られないが、今度はいくらでも変るが、ここに欧国調、何等かの形を変えて現はれるのでなるまいか、「欧調」を見つけるとも限らないとはいへない

（海外小話）

新型装甲内火艇進造さる

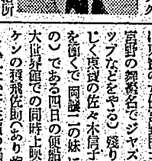
米国海軍は目下建造中の大型であるが、米国海軍の装甲内火艇は以下の計画を進めて装甲ボートマス計画を進めて装甲ボートマス計画を行ふ事である。此の内火艇は長さ四十呎、自重六百呎に回り海

ルシタニア遺財貨引揚げの計畫

世界大戦の際ドイツの潜水艇に撃沈されたアイルランド沖にゐた米国の富豪ルシタニア号の引揚げはこれまで費用と なく計畫されたが、同方面の海流はい上に流速であるためいづれも失敗に終りたが、今回は米国ロンドンとルフィーム氏等、ロンドンの技師によつて大型ルシタニア号のしい潜水艇を建造し、

藤山一郎でアトラクション

五日から大世界館



週刊の話題

藤山一郎氏は東京蓄音機会社の招聘で渡鮮し二月五日から大世界館のアトラクションに出演する

鮮で東京の藤山一郎は東京蓄音機会社の招聘で渡鮮し二月五日から大世界館のアトラクションに出演する

「淋しい心」クラブ

米国のプリンストン大学内にこのほど「淋しい心」のクラブといふのが設立されて大評判になつてゐる、このクラブの趣旨を知らうとするならば同クラブがデアッサー女子大学の学生新聞に掲げた次の廣告文を御覧なさい、曰く

現在プリンストン大学の男生中で孤独な淋しい心をいだいてゐる者が実に淋しいでかもし淋しいなら、あなたは本クラブに入会して同氏相手の恋人をつくりクラブを通して手紙を交換するやうになれ、貴女が一緒に結婚しなさい。

このクラブは被初回目半分に結められたのだが、設立者貴氏半年の心理の研究アイルランド沖にゐた米国の富豪ルシタニア号の引揚はこれまで費用と なく計畫されたが、同方面の海流はい上に流速であるためいづれも失敗に終りたが、今回は米国ロンドンとルフィーム氏等、ロンドンの技師によつて大型ルシタニア号のしい潜水艇を建造し、

有段者十人抜碁戰

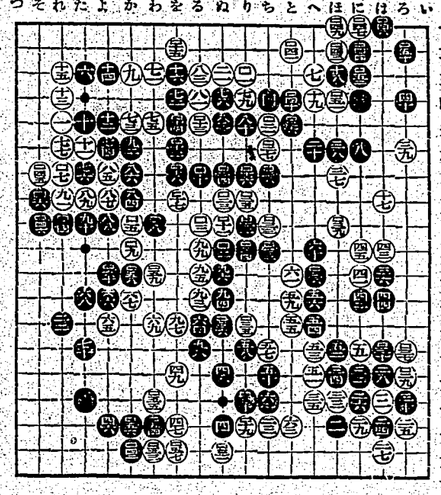
（第二次十局ノ四）

主催 本社
協賛 棋道

同一氏 堀深
目同二勝

二段 堀深雄房
二段 橋本國三郎

審判員 頭取



段	氏名	勝	敗	勝率
二段	堀深雄房	二	〇	一〇〇
二段	橋本國三郎	二	〇	一〇〇
四段	目同二	一	一	五〇
四段	目同勝	一	一	五〇
四段	目同一	一	一	五〇
四段	目同氏	一	一	五〇
四段	目同堀	一	一	五〇
四段	目同深	一	一	五〇
四段	目同雄	一	一	五〇
四段	目同房	一	一	五〇
四段	目同橋	一	一	五〇
四段	目同本	一	一	五〇
四段	目同國	一	一	五〇
四段	目同三	一	一	五〇
四段	目同郎	一	一	五

（第二種）（原稿郵便）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

臺灣日日新報

日本唯一夕刊共二十頁

社長 佐々木 人行發兼編輯

地番臺北市日吉町二丁目 社長 佐々木 人行發兼編輯

電話 代表五八〇三 編輯局五八〇四 庶務五八〇五 業務五八〇六 社會部五八〇七

臺北市北門町二丁目 臺灣日日新報社 所行發

郵便振替臺北二〇〇番 臺灣日日新報社 所行發

定價 一部六錢 月額金八圓五十錢 臺灣 滿洲 支那 內地 朝鮮 樺太 南洋 共前金 廣告料 普通欄 一行五十錢 特別欄 一行一圓 同 貳圓 五段 圓 三段 圓 廣告料 本紙掲載 一〇日間 無料 配達料 臺北二錢 臺北以外 八錢 內地 朝鮮 樺太 南洋 共 一部六錢 月額 臺北 二圓 臺北以外 八圓 內地 朝鮮 樺太 南洋 共 一部

明糖とパルプ工業
用水、排水問題を研究中
農産工業は將來有望
明治製糖株式會社　相馬半治氏談

一月十五日一番船にて來臺した明治製糖株式會社長相馬半治氏は爾來各工場並に農場を視察し各方面へも挨拶をなし目下鋭き意在中である氏は八日來北、十日出帆の大和丸にて歸京の豫定である氏は明治製糖とパルプ並に農産工業及び合醸酒業につき次の如く語つた

昨年九月資本金一千万円四分の一拂込で創設した明治農産工業は同年十二月一日一期の條件で之を明治製糖と合併し明糖はこれが為め資本金一千万円を增加して五千八百万円、内拂込四千百七十万円となり右合併祭に伴して昨年の二月に一緒に何れも七月の拂込を終了することになつてゐる

農産工業　創立の目的は主産業明治製糖の原料となるべき農産物、甜菜栽培面ちコーンシュガーとコーンシロップ等を製造の為めであつて右甜菜の栽培には甲州、信州等の適當地を選ぶことになつた、併し創立に際し資金が勃發して資金調整策の設定となり、車業そのものは暫の有望である、次にパルプ工業に關しては長くから着眼し種々研究中である、御承知の如く川崎工場構内には川崎研究所があり知名の博士に依嘱し化學的研究をやつてゐるが、原料の皮からやクチンを造ることは目下研究したが、糖蜜からガソリンを造ることは丹野博士によつて立派に完成した、バガスをパルプ化することは既に構内興業の前身時代に成功してゐるから之が製造は大して問題ではないが、蔗糖で之を企業化するについて第一に問題となるのは用水であり次は廢液の排出場所である、明糖で築造中の臨海工場は海の水を使て果して用水が足りるかの問題を解決しなければならぬし、又水質処理をなしなければならぬ、何れも一つの條件であらう、廢液の排出先はなか〳〵面倒な問題で假に會文館の總新附近又は臨海部の水上附近にパルプ工場をつくるとせば、その

臺拓の小作契約更新
高雄支店の契約者變更は一割弱
【高雄電話】臺灣拓殖高雄支店の本年度小作契約數は非公表のまま遂行してゐる形勢があるので今春は昨年迄はどうでなくとも蔗苗と肥料との報償條件は二、三月中にモット縮小するのでないかとみられてゐる

殖産局が招集の全島内務部長會議
十三年度諸計畫に對し
八、九兩日督府で打合

殖産局では近く設立される台灣畜産興業株式會社の設立に關し十二年度より實施の台灣畜産會及び同畜産會令、十三年度特種物産物産物等の專賣打合をなすことなり、來る八、九兩日午前十時より殖産局で開催されることとなつた、當日は各州内務部長、警務部長、殖産部長、各廳專賣課長、警務部長殖産係主任多數出席の豫定である、附議事項は

一、畜産會令、畜産組合に關する件、
二、畜産會令、畜産組合に關する件、
三、昭和十三年度諸計畫物（蔗糖、甘藷、茶、煙草）に關する件、
四、其他、其他殖産局關係の專賣事項

となつてゐるので各部方面の協賛と援助を求める計畫の最後的協議をなす

一、畜産會令　同畜産會令施行に關する件、即ち同畜産會令施行細則の内容は、概ね次の如く定まつてゐる

二、畜産組合　畜産組合は畜産會令第十條に基き畜産會の指導を受け畜産の改良、畜産物の生産、販賣、加工、其の他畜産に關する事業を目的とし

文藝

◇短篇小說◇

若い季節（上）

富士村格

海岸をつかんで、こまは岩の蔭からずるゝ〳〵這ひ下りて行つた。やがて、ぱっと目に身體が光つたと思ふと、ざぶんと暗くもりつた潮の上で大きな音がした。

直人は船の上から、次第に近づいて來るこまの飛沫を眺らした顏をみると、何かあやしく呼んだ怒らいものを感じた。

「岩の上で、たんと見しとつたわ」

こまは濡く笑ひながら、手拭にくるんだ鰹節を船に投げこんだ。そして巧く背を曲げると、水の中で體をぶるゝんゝと搖つた。

「もう上るで船の下へつけて」直人はぐんと櫂を押した。もやゝくと手足や頭が、滿月みたいに淡い光に溶されてゐた。直人がふと眺ようとすると、櫂がつるんと滑つた。

「よう泳がんか」さう言つて振返ると、いつの間にかこまは仄白い浴衣の花模樣をひら〳〵させながら、岩の上で太陽の號をしぼつてゐた。

「十七援れたかの」

こまは脚ぬぎのまゝ船に飛びのると、「帰らんでつ」とやがてぎいつと櫂を押した。舳が岩壁を過ぎると、もう遠く海際にはなんの影も見えなかつた。「暗うなつたに」「怖やせん」「寒いやろ」「んゝうん」こまは濡れた脚をこすると、浴衣をきちんと合せてきゆつと帶をしごいた。何か悪い事でもしたやうに、直人は船の前をみつめてゐた。しんとさびれた海の中を冷たい風のやうなものが走つた。こまはその子供つぽい直人の顏をみると、急に笑ひながら暗かに櫂の音を流してみせた。海に船を引上げると、もう赤い日が海に落ちかけてゐた。

「裏から帰るかの」こまはさう言ふと、すたゝくと歩み始めた。丈の高い草の間を分ける度に、ぶらんぶらんと鰹節の包みが揺れた。直人のかたい肩がこまの腕にぶつかつてきた。そのたびに、直人の光つた世界がしゆつとして消えた。身を縮めるやうな樂しさで、直人は一層大さく鰹節の包みを振るのだつた。

「こま、もうねるのか」「明うなつたでのう」「妾の淚いだこと誰にも語さんでの」と声を低めた。きれの長い一重の眼が笑ひながら流れるのを見ると、直人はさつい顏でこつくり頷いた。

生び殘つた蛍は、直人より丈が高かつた。

こまはこの際少年とのひと時が、取もなく樂しめた。へどを吐き吸げた後の快い疲勞のやうにこの若い整節がこまの腕には呼吸づいた。

そんなこまの妾振りにも、父親鰹左は無關心だつた。夜更けてそうつと帰つて來るこまを見つけると、「おつ世はつかに苦勞かけん」と背を向けたまゝ魚籠をいぢくり廻してゐた。時には「町に行くの」が嫌なら妾に目つて櫂ぼんが、父がつつあかて腕がかんとして神へ行ける迄、浮とりもならんで暗うまで釣してるんやゝ。えたか、うか〳〵してると又二言鰹せんならん」と陶やけた顏の下から渇つた眼をぎろりとさせた。

そんな時、スッと遠ぎるやうにゆくこまの姿を見たなら、あんなひく〳〵言ひやつたかと思ふと、鰹左は「面にや腐てんが」と不機の思ひがするのだつた。

こまは去年の夏、鰹節の製さんに連れられて町へ出ると、今年の春までその賓客の所で勤勞を強めてゐた。丁度、こまが思者の子を孕んで帰つてきつより賓客の所からぬけ出つてきた後、鰹左は盛海で腕を強いて勤さもされない床の中で一日中暮さ通した後だつた。その いらだたしさが、生れつき勝氣な鰹左には堪りかつた。こまはもう頼るもののない、つきのめされた身で前圍の端にがみつくと、いつそ死なう〳〵と口走つた。

「親の心配も知らんで、なんて恥晒らす。その腹わりや云へるか。親の人あ、おめ〻父つつこ怒つの怒を嚥してみなるわめき声が、すきま風に混れて、げん〳〵響うつけながらもう耳に鳴るまいとしんかも考へた。

子供の月足らずで生れた時も、その翌日迄、こまは父親への憎惡もいつとはなく薄らいでゐたが、その身が「一度あらゆるものに背かれた」と云ふ再実は、もうこまの汚れた面に黒く流れ込んでゐた。鰹左はそんな中から浮かびたらうとするこまの人間らしさをみると、嫁う子に佛になつて呉れたんぢや」と胸の深い怒をつきながら、死んだ子の身を羨んだ。お通夜をこまと母親のちかの三人きりでひつそりやりながらも、鰹左はもう酒の腕の中でこまと同じ思ひにくれてゐた。

そんな暗い春を忘れかけたこの頃には、こまは父親への憎惡もいつとはなく薄らいでゐたが、その身が「一度あらゆるものに背かれた」と云ふ再実は、もうこまの汚れた面に黒く流れ込んでゐた。鰹左はそんな中から浮かびたらうとするこまの人間らしさをみると、嫁う子に佛になつて呉れたんぢや」と胸の深い怒をつきながら、死んだ子の身を羨んだ。お通夜をこまと母親のちかの三人きりでひつそりやりながらも、鰹左はもう酒の腕の中でこまと同じ思ひにくれてゐた。

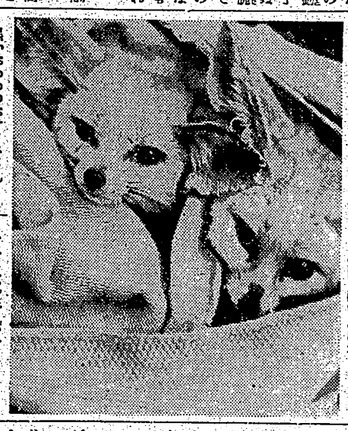
その日から、こまの家に新しい雇人の客が間借した。こまはその男の顏を見知つてゐた。男の家は何処か知らなかつたが、春祭の町内の山車について聽つてゐた花笠の眼のなかに、その顏の見覚えがあつた。

若い身だから故つて暮けばいつか運に勝つて行くと、それが今では、たつた一つの願ひだつた。「十六ややと、ここらでは若衆でどうならんが、町の子はほんにあんなよはん(意情)みたいのう」

さういふ母親らゝの前で、「こまさ、乳が張らんでえこつちや」と郎ぶ、ゐの話にもこまは「馬鹿みたいな人達や」と一蹴に笑ひこけてゐた。

その日から、こまの家に新しい雇人の客が間借した。こまはその男の顏を見知つてゐた。男の家は何処か知らなかつたが、春祭の町内の山車について聽つてゐた花笠の眼のなかに、その顏の見覚えがあつた。

黒いおめめのやキッネさん
ラクダの毛布にくるまつて
コンコン
こんなに寒くちややり切れない
親子キッネは鳴へてる
× × ×
街のガールは鳴いて
キッネの襟巻する時に



アチラちや牛乳、ビスケット
チーズはコンちゃん大喜び
だが、野っ原の狐族は
おいらの好物鰹物さ
中でも小豆が味がいい
春の彼岸はたたいな
コン〳〵コンと雪の中

巴里のキツネ

動物園を訪れて

ここはフランスパリーの都
動物園のコンチキッネは
ラクダの毛布で温まる
○　×　×

キッネの好物何ちやいな
赤のまんまに油揚と
東の国ではいふけれど

一月は初午お稲荷さん
キッネがお馬に乘つて行く
などといふのはニッポンの
音がたりのおキッネさん
× × ×
マロニエ並木の曲り角
動物園の穴の中

ここはフランスパリーの都
動物園のコンチキッネは
ラクダの毛布で温まる
○　×　×

キッネの好物何ちやいな
赤のまんまに油揚と
東の国ではいふけれど

一月は初午お稲荷さん
キッネがお馬に乘つて行く
などといふのはニッポンの
音がたりのおキッネさん
× × ×
マロニエ並木の曲り角
動物園の穴の中

つてゐるのだ。その間にSは二度目を盗つた。又狐は倒れた。Kの狩乳が出なかつたので、狐はとう〳〵溺がしてしまつた。しかし、Kには銃が使へなかつたことが、何だかうれしい感な氣がした。

○

それから冬も過つて、四月、暖かくなりはじめた。山はそろ〳〵雪がとけて、例年のことなが ら雪崩が人々を脅かした。丁度その頃は山の獣がなかなか冬眠からさめて活動をはじめるので、獵師にはかき入どきである。

KとSの二人は今日も、山から山、峰から谷と獣を探して歩いたが、どうしたものか一匹も獲れない。二人は仕方なく我家をさして山を下りはじめた。

○

その時、Sは一匹の狐をみつけた。すぐに一發發射した。

コロリと狐は倒れた。Sは「占めた」とばかり、獲物へ向つて、しづかに歩いて行つた。

KはSに先を越されて一寸失望したが、狐といふと、此の森の不快な記憶からなるので何か不吉な暗示に襲はれて、Sの方を立つてみてゐた。

すると、Sが、狐のそばへ辿りついた瞬間ゴーと異様な音がした雪の崩れる。ザーザーといふ音である。左側崖から猛然と勢ひで雪崩が襲つて來た。

アッ！とみる間に、Sも狐も雪の巨大な塊の中にかくれて落ちて行つてしまつた。

○

Kはすぐ村人にこの急を知らせる。救隊がかり出され、やつと二日目にSの死體が見つかつた。

獣の怨しい姿を見た時、Kにヤッと感と感れに感慨さした。

Sの右足に、襲撃された部の狐がしつかり喰付いてゐる。それはかつて森を逃した狐さつつりではないか。

人々もこの意外な光景にひとしく驚の眼を見はつた。

「やつぱり、復讐したんだ、怨ろしい動物だ」

「馬鹿だつて母子の間に変りはない」

めい〳〵深いためいきをついて聞つてゐるのをきいてKは命拾ひをした様に思つた。あの銃が安全裝置になつてゐるのだから、自分だけは狐に恨まれなかつたのかも知れない。それにしても、獣の怨ろしさを今更ながかつく〳〵感じて、それ以來Kは銃を捨てたいと。

「馬鹿だ！　馬鹿だ！　わしや先づ風車の蔭に隠をやらなさやならん！　まあ考へて見れえ、もう怨いこと何もゆはせなかつたんだからな」

老人が右に左に動いて、彼をあのけ、目に氣をつけてゐるのを見ながら、我々はみんな涙を流した。

その間に、小麦はひかれ、細かい麦粉が床の上へ飛び散つた。

これぞ我等のなすべき義務である。この日からといふもの、我々は老人にかかさずに仕事を與へたそうでもいに、或る朝のこと、コルニーユ老人はこの世を去んだ。そしてこの最後の風車の蔭は遂に永遠に……コルニーユが死ぬと共をその風車小屋を離れるものはなかつた。その他にどうしやうがあろう？……万物には終るありだ。風車の時代は、ローヌ河の緑台馬車や、蒸汽や、大きな花崗岩ジャケッたとなどと共にもう過去に入つてしまつたんだよ（石濱三男譯）

コルニーユ親方の祕密（下）

佛　A・ドウデエ作

しかし、やがて、万事明瞭になる日が來た。訳は次のやうなのであつた。

或る日のこと、わしがわしのフイルで若者達と戯れてゐる間に、わしの身と戯れのダイベニ サットとが互ひに戯し合つてることに気がついたのだ。このことに就て、わしは本心では別に怒らなかつた。といふのは、コルニーユといふ名前は村では名高いものだつたし、それにあの可愛いいダイベニサットがわしの家の中を歩き、やうに抜き廻つたらきつと楽しいだらうと思つたからだ。ただ一人があまり度々一緒にゐるのでなぜ何か怪のといけないので、すぐに語をつめようと思つてわしは老人の風車小屋へ登つて行つたのだ。が、何て不思議な老人だらう！　わしに驚きもしなその様子といつたら！　老人はどうしても驚かなかつた。わしは穴から首相を突つこんでことで意明したが、わしが話してゐる間中、あのいやな鼠の鼻がわしの頭の上で絶り廻つてゐるだもんだ。

老人はわしの言葉が終らないうちに、お前は勝手に話を吹いてゐたらいいだらうといつた。そんなに合いて手伝に来が欲しいなら、風車小屋の鼠を捕つたらいいぞやないかとそなつた。こんな悪口をきいて、わしがカアとしたことは勿論だ。が、わしは無理に自分を抑して、老人を一人で殺して帰り、一人にわしの失敗談を傳へたつた。すると良れた二匹の鼠達。わしの話を信ずることができなかつた。さうして二人でこれからお母さんの所へ行くことを許して呉れと頼む。だつた。

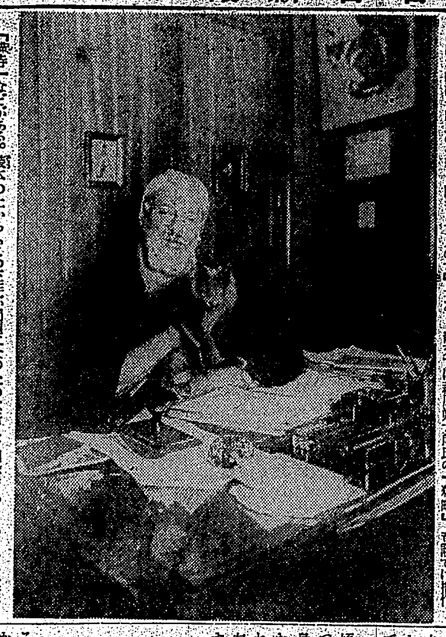
二人が風車小屋へ着いた時は、コルニーユ親方が丁度出掛けた後だつた。が、老人は出かけに樫子をその様子を見ようぢやないかといふことになつたのだ。

不思議千万！　日のある部屋は至つぽだつた。一つの蜘も、一匹の蠅もなかつた。壁にも蜘蛛の巣にも、粉らしいものはなつともかかつてゐない。それに、風車小屋にはつきもののひいた小麦のあの粉がやうだつた——時を移さずわしは鼠の前にはしつて行つた。

風車小屋は高々と開かれてゐた扉の前にはコルニーユの親方が壁土の袋の上に坐つて、両手に顏を埋めて泣いてゐた。彼は無事して見ると留守中に誰かが忍び込んでその悲しい砂袋を奪つたことに氣がついて、口惜がつてゐるのであつた。

「何て呉れた嘘だ！」と彼はいつた「ある死如より仕方がない——風車は焼されてしまつたのだ！」

さうして彼は、身も千切れんと泣き叫び、本當の人に刻するやうに、その風車をいろんな姿勢で



「鐵寺」などがある。製本の上からもこの二作が問題になつたのは奇しき因縁であらう。さて、実は鐵で「鐵」を愛してゐる人は数へきれない程多い。今回はフランスの「鐵」好き文豪の面影を紹介しよう。知つて、今日は日本びいきの鐵道家ブーレル翁……

西川滿

佛文豪と猫（一）

ボードレエルの鐵の詩をはじめとし文豪作品の上に鐵を扱つたものは多い。最近我國で出されたものでも小説には谷崎潤一郎氏の「鐵と性慾」と次の文があり、戯文では藤原咲平氏の「鐵町」童話では鳥居龍藏氏の「鐵の森」

雪崩

—母狐が復讐した話—

梶山登

雪国のある湖水で聞いた話である。雪の獵師が話してくれたのだからつくりごとではない。

○

その獵師は既に老人で、これは過ぎし日の懐かしい思出なのである。假にその人の名をKといはうあ。ある夜Kが、湖辺で鹿を飲んでゐると、獵師のSといふ獵師がやつてきて、鹿の森の前に、狐の足跡がついてゐると知らせた。早速二人は銃を執つて出かけたのである。

二人は、忍びよつて月の光で凍つた雪の中をのぞくと、仔牛程の親狐が一匹の子狐を抱へて何か食物を與へてゐる様子、それは人の世親が子に乳をのませてゐる姿と同じであつた。Kはこの世情愛の光景に銃をかまへる気になれないで、狐を逃しやりたかつた。獵師のSはそんな情味なんか持合せてゐるK＝は生方なしに銃をかまへて一歩進んだ。

物音におどろいた子狐は母狐に抱きついた。ツドンと一発ギャン……たしかに手ごたへあつて子狐が一匹倒れた。Kも引金をひいたがどうしたことか、弾丸が出なかつた。しやくと銃が安全裝置になつてゐる。Kは生方なしに銃をかまへて一歩進んだ。

物音におどろいた子狐は母狐に抱きつつ